

# 2024年6月 イーアイデム会員対象アンケート結果

## TOPICS

株式会社アイデム  
東日本事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】お仕事探しに関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上・商品開発につなげる

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、2024/06/01～2024/06/30の期間にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2024/06/02～2024/07/05（34日間）

## 調査方法

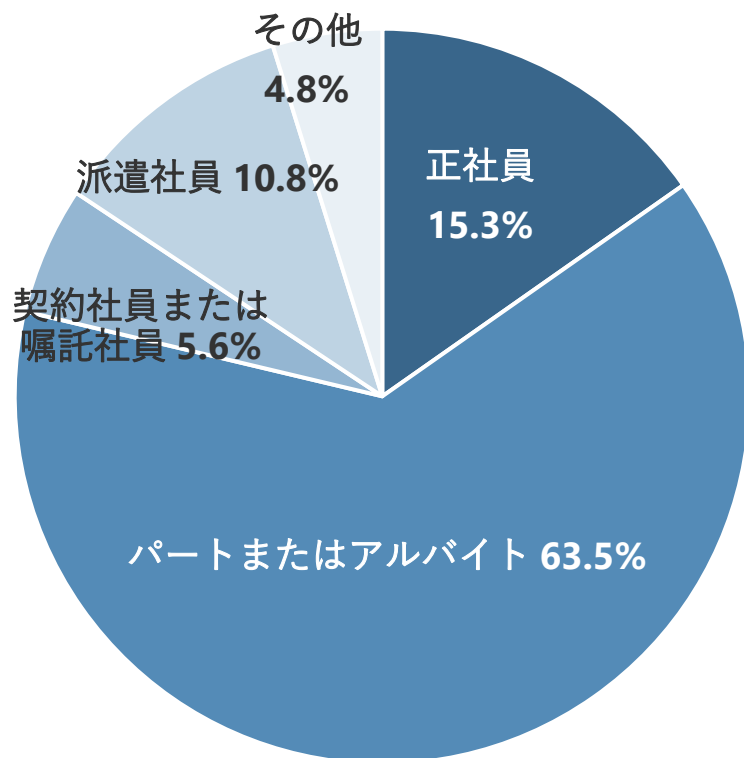
- ▶インターネットリサーチ

## 有効回答数

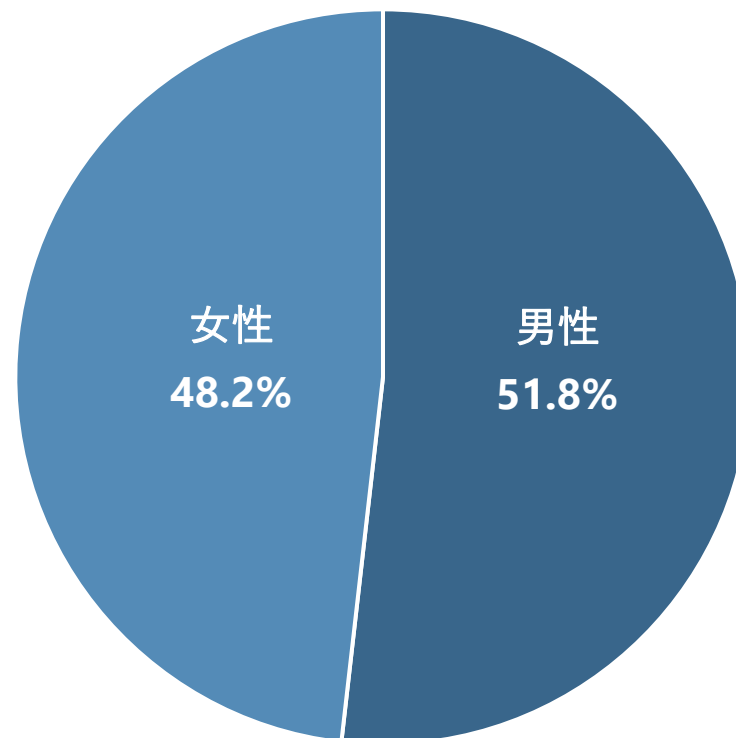
- ▶249件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

## 希望する雇用形態



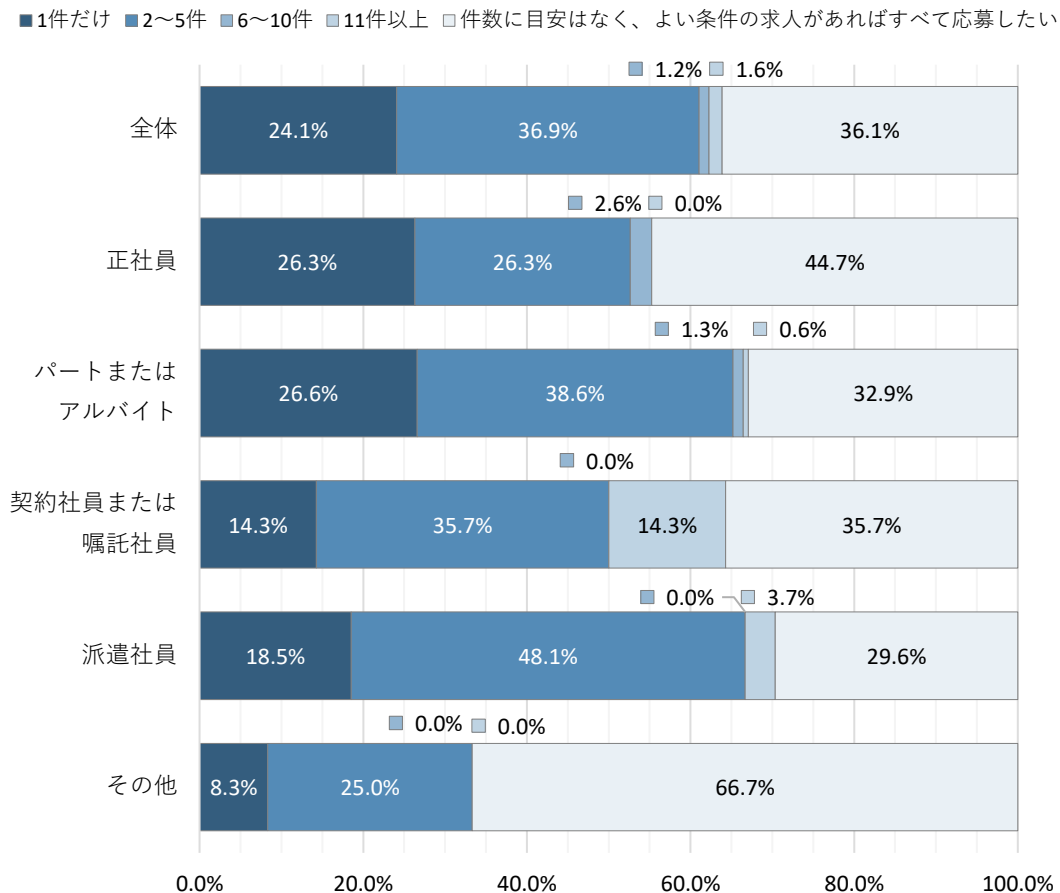
## 性別



イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、今回の求職活動期間の中で、求人に応募する件数の目安があるかどうかきいた。全体では、「2～5件」が最も多く36.9%、次いで「件数に目安はなく、良い条件があればすべて応募したい」が36.1%、「1件だけ」が24.1%、「11件以上」が1.6%、「6～10件」が1.2%となった。「1件だけ」以外を選んだ割合は全体の75%となった。

希望雇用形態別にみると、「正社員」では、「件数に目安はなく、良い条件の求人があればすべて応募したい」の割合は44.7%で最も多く、約半数は目安を設けていないことがわかった。「パートまたはアルバイト」では「2～5件」応募するとした割合が38.6%、「1件だけ」が26.6%で、応募件数に目安を設けて活動している人が多いようだ。

今回の求職活動期間の中で、  
およそ何件ほど応募しようと思いますか。

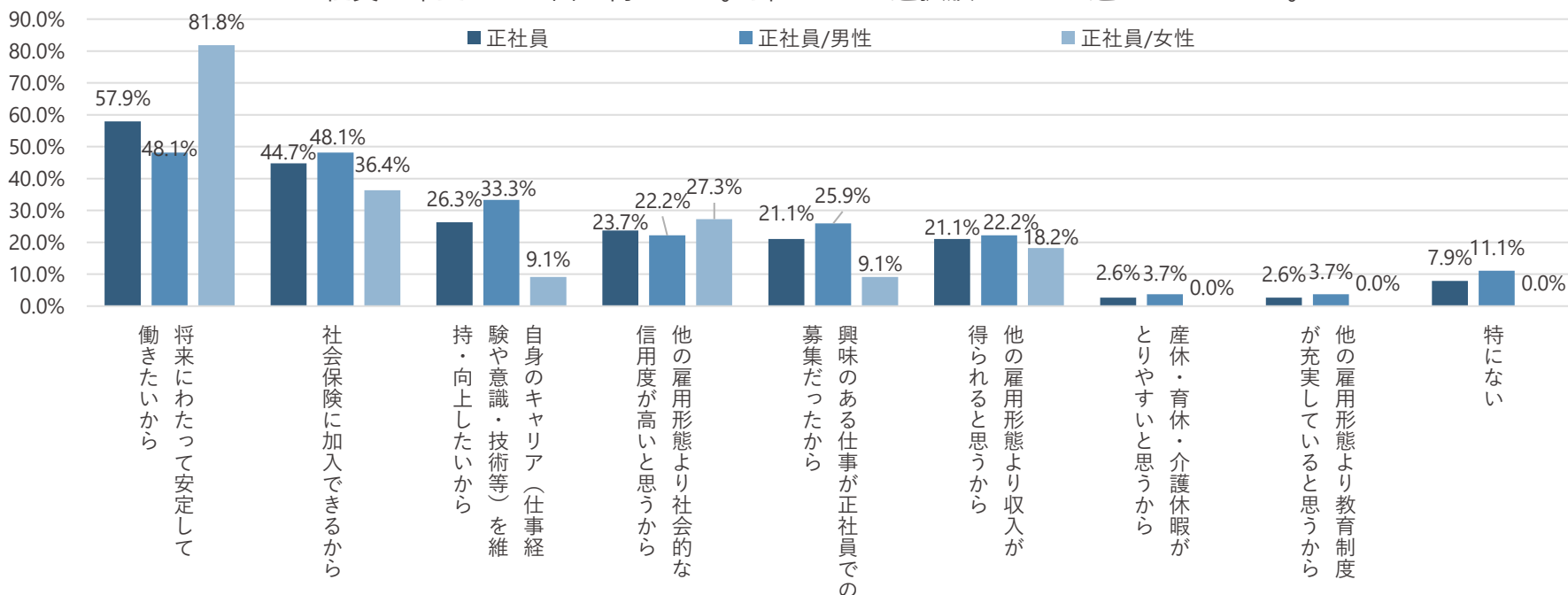


イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、なぜ正社員を希望するのかをきいた（複数回答）。最高値となったのは「将来にわたって安定して働きたいから」が57.9%、次いで「社会保険に加入できるから」が44.7%、「自身のキャリア（仕事経験や意識・技術等）を維持・向上したいから」が26.3%となっている。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「自身のキャリアを維持・向上したいから」が24.2pt、「興味のある仕事」が正社員での募集だったから」が16.8pt高くなった。仕事内容やキャリアを重視して仕事探しを進めていた人が女性より多かった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「将来にわたって安定して働きたいから」が33.7pt、「他の雇用形態より社会的な信用度が高いと思うから」が5.1pt高くなった。特に「将来にわたって安定して働きたいから」は81.8%の人に選ばれていることから、安定した雇用形態として正社員が支持されているようだ。

正社員を希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



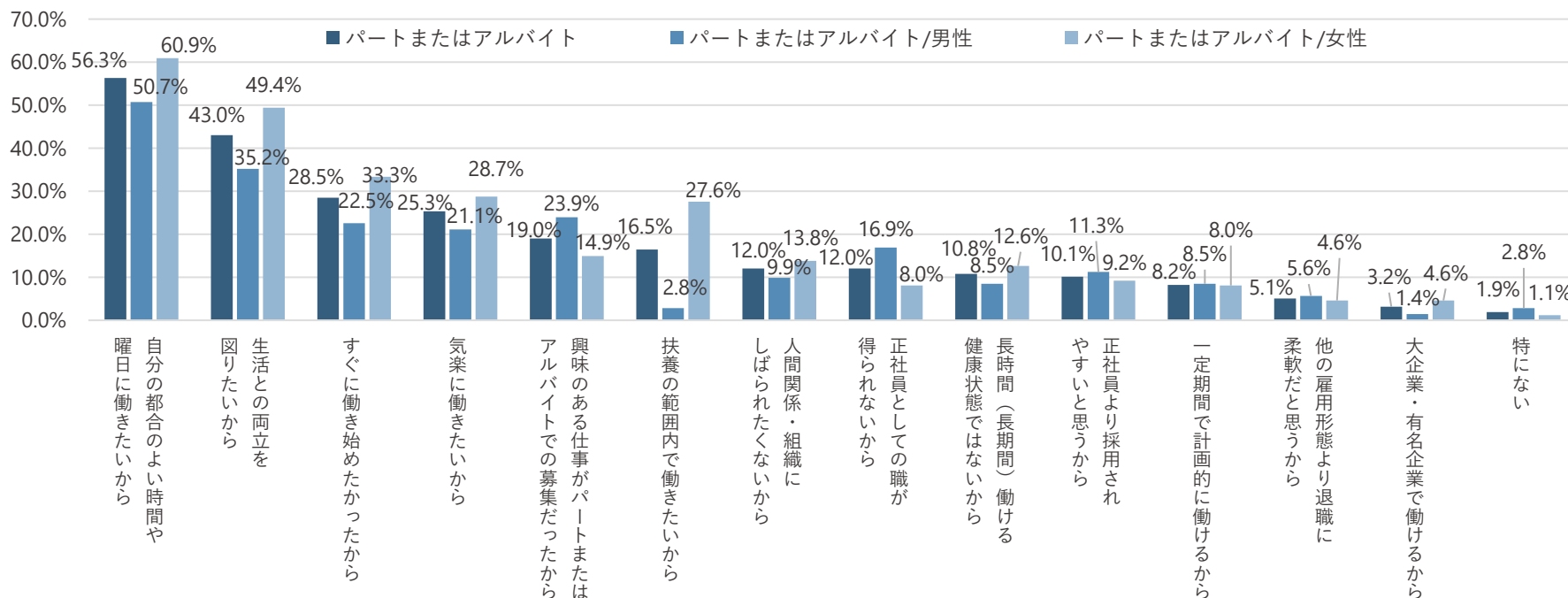
# パート・アルバイトを希望する理由

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイトを希望する人に、なぜその雇用形態を希望するのかをきいた（複数回答）。最も多かったのは「自分の都合のよい時間や曜日に働きたいから」で56.3%、次いで「生活との両立を図りたいから」が43.0%、「すぐに働き始めたかったから」が28.5%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「興味のある仕事がパートまたはアルバイトでの募集だったから」が9.0pt、「正社員としての職が得られないから」が8.9pt高くなった。雇用形態にこだわらない意見もあれば、仕方なくパート・アルバイトでの仕事を希望する意見もあった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働きたいから」が24.8pt、「生活との両立を図りたいから」が14.2pt、「すぐに働き始めたかったから」が10.8pt高くなった。家庭の仕事との兼ね合いでパートタイムを希望していたり、収入に目安を設けて仕事をしたい人が男性よりも多いことがわかる。

パートまたはアルバイトを希望する理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



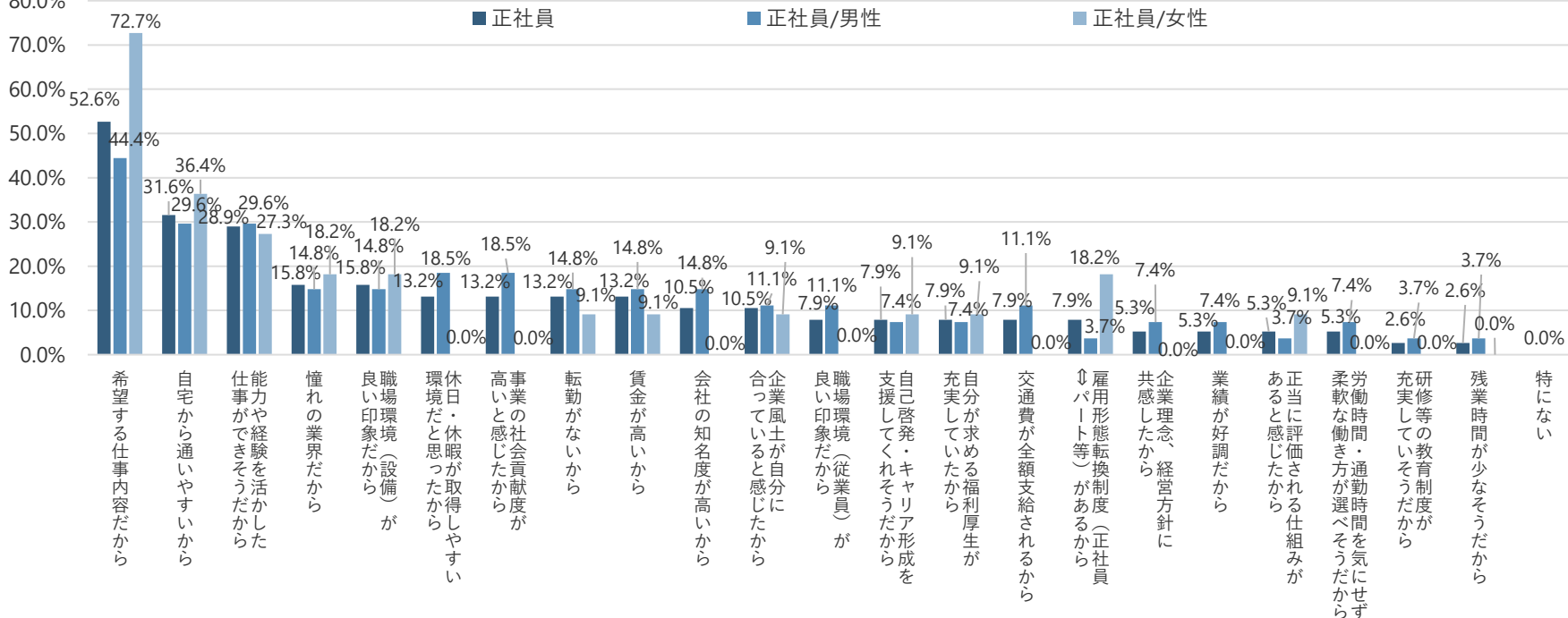
# 求人に応募した理由（正社員希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、正社員雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。多かったのは「希望する仕事内容だから」が52.6%、「自宅から通いやすいから」が31.6%、「能力や経験を活かした仕事ができそうだから」が28.9%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「休日・休暇が取得しやすい環境だと思ったから」と「事業の社会貢献度が高いと感じたから」が18.5pt、「会社の知名度が高いから」が14.8pt高くなった。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「希望する仕事内容だから」が28.3pt、「雇用形態転換制度（正社員⇔パート等）があるから」が14.5pt、「自宅から通いやすいから」が6.8pt高くなった。仕事内容を重要視して応募企業を検討している人が7割に上ることがわかった。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。



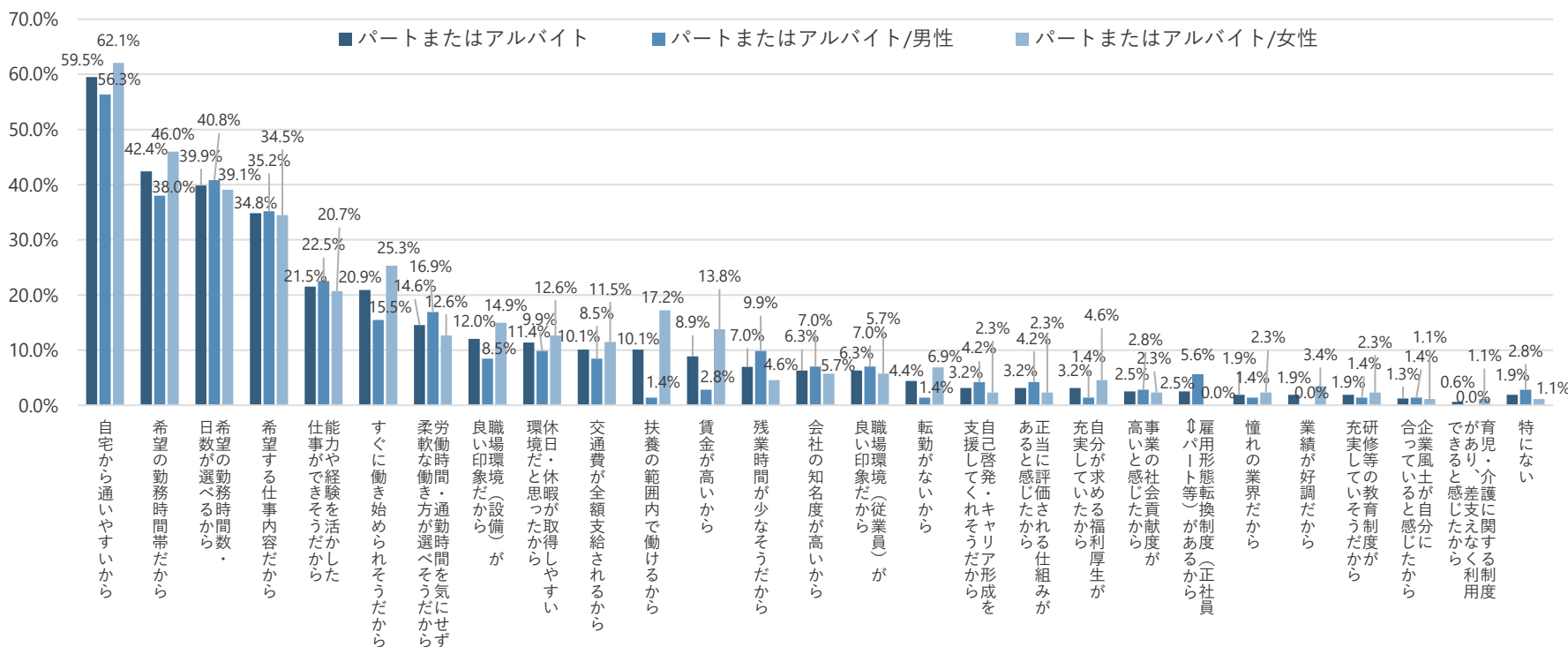
# 求人に応募した理由（パート・アルバイト希望の場合）

イーアイデムに掲載された求人に応募した、パートまたはアルバイト雇用を希望する人に、自身が応募した求人を選んだ理由をきいた（複数回答）。最も多かったのは「自宅から通いやすいから」で59.5%、次いで「希望の勤務時間帯だから」が42.4%、「希望の勤務時間数・日数が選べるから」が39.9%となった。

性別との関係を見ると、「男性」のほうが「女性」よりも「雇用形態転換制度（正社員⇔パート等）があるから」が5.6pt、「残業時間が少なそうだから」が5.3pt高くなった。男性のパート・アルバイト希望の中には、「正社員での職が得られないから」（P6）という意見が女性よりも集まっており、勤続後に正社員へ転換したいという人が一定数いるようだ。

一方、「女性」のほうが「男性」よりも「扶養の範囲内で働けるから」が15.8pt、「賃金が高いから」が11.0pt、「すぐに働き始められそうだから」が9.8pt高くなった。限られた時間の中で、効率的に収入が得られる形が選ばれている。

その仕事内容の求人に応募した理由は何ですか。当てはまる選択肢をすべて選んでください。





# 週当たりの希望勤務時間

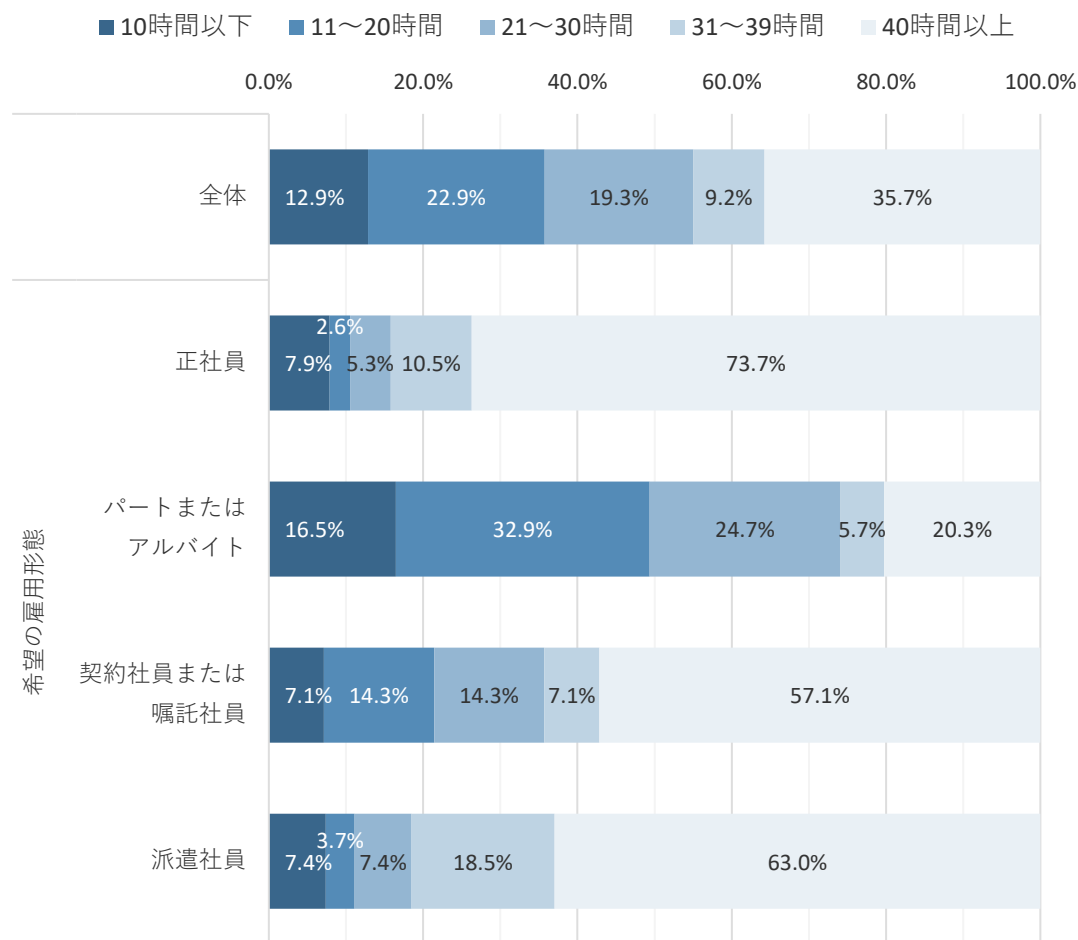
イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、週当たりの希望勤務時間をきいた。全体では「40時間以上」が35.7%、「11～20時間」が22.9%、「21～30時間」が19.3%、「10時間以下」が12.9%、「30～39時間」が9.2%となった。

希望の雇用形態別にみると、「正社員」では「40時間以上」が73.7%で、7割以上となった。いわゆる、フルタイムでの勤務を希望している人が大半であることがわかる。

「パート・アルバイト」を希望する人では、最も多かったのが「11～20時間」が32.9%、次いで「21～30時間」が24.7%となっている。パート・アルバイトでの勤務を希望する人には、扶養の範囲内での勤務を希望する人も多いが、「40時間以上」を望む人も一定数おり、一概に短時間を望んでいるわけではないことがわかる。

「契約社員または嘱託社員」や「派遣社員」を希望する人では、「40時間以上」を希望する割合が半数以上だった。正社員を希望する人でなくとも、より多くの時間働きたいという声は少なくないようだ。

今回の仕事探しで見つけたお仕事では、週に何時間程度働きたいと考えていますか。

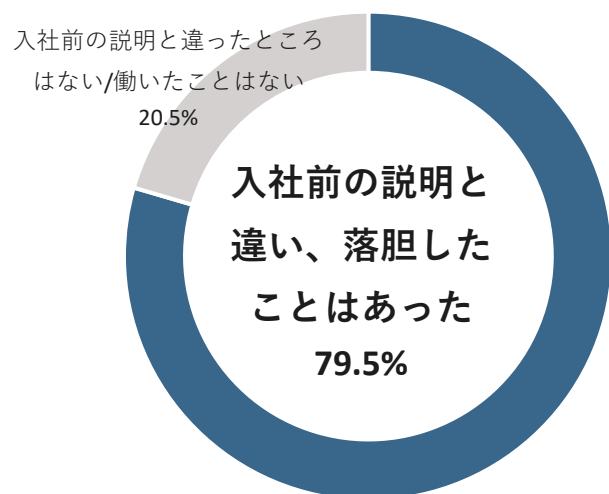


イーアイデムに掲載された求人に応募した人に、入社後に「入社前に聞いていた説明と違い、落胆したことはあった」かきいた。「入社前に聞いていた説明と違い、落胆したことはあった」が79.5%、「入社前の説明と違ったところはない/働いたことはない」が20.5%だった。8割の人が今までの仕事で、事前の説明と違った部分を感じたことがあったようだ。

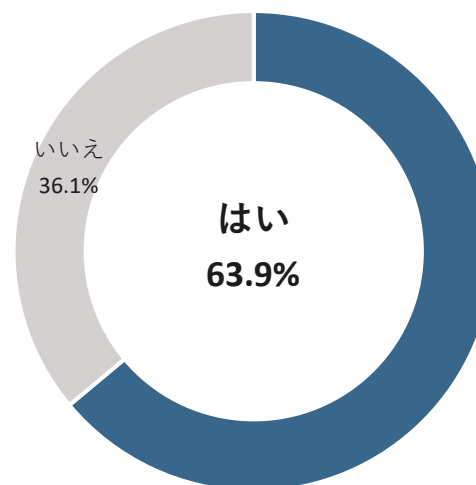
違いが「あった」と回答した人に、違いがあったことがきっかけになってその職場を退職したことがあるかをきいた。「はい」が63.9%、「いいえ」が36.1%となった。

事前の説明と、労働者が入社後に感じた差が落胆につながった場合、退職につながりやすいことがわかる。

今まで働いた職場で、入社後に「入社前に聞いていた説明と違う」と感じ落胆したことはありましたか？



違いがあったことがきっかけになって、その職場を退職したことはありますか？



「入社前に聞いていた説明と違う」と感じ落胆したかどうかの設問では、具体的にどんな内容に違いを感じたのかをきいている。違いを感じた内容で最も多かったのは「職場の雰囲気」で28.9%、次いで「業務内容」で25.7%、「上司や同僚をはじめとした対人関係」が24.9%となった。業務内容は仕事の選び方でも上位になりやすく、その分事前の確認と異なった場合落胆につながりやすいのかもしれない。また、雰囲気や対人関係は仕事の選び方の上位にはあまり入ってこないが、ギャップを感じた場合落胆につながりやすいようだ。

違いがあったことがきっかけとなって退職したことがあるかどうか別にみると、退職したことが「ある」人では、「職場の雰囲気」が47.0%、「上司や同僚をはじめとした対人関係」が41.0%、「業務内容」が39.3%となった。全体の結果と比べて10pt以上高くなっている。また、「その他」を除くどの選択肢も、退職したことが「ある」人の方が回答割合が高い。退職を防ぐには、求人時はもちろん選考や入社前の段階で、齟齬のない説明が重要であることがわかる。

今まで働いた職場で、入社後に「入社前に聞いていた説明と違う」と感じ落胆したことはありましたか？

実際に入社前の説明と違った部分について、あてはまるものをすべて選んでください。

